

事業概要シート

施策	0602	高齢者の生きがいくりと介護予防の推進	《 》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	第1号訪問事業	縮小	予算額	4,180 千円 《 》 4,020 《 》千円
事業期間	平成18年度 ~		財 源 内 訳	国庫支出金 1,040 千円
根拠法令要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱			県支出金 520 千円
				地方債 0 千円
				その他 1,143 千円 一般財源 1,477 千円

【事業の目的・概要・対象】

◆事業の目的

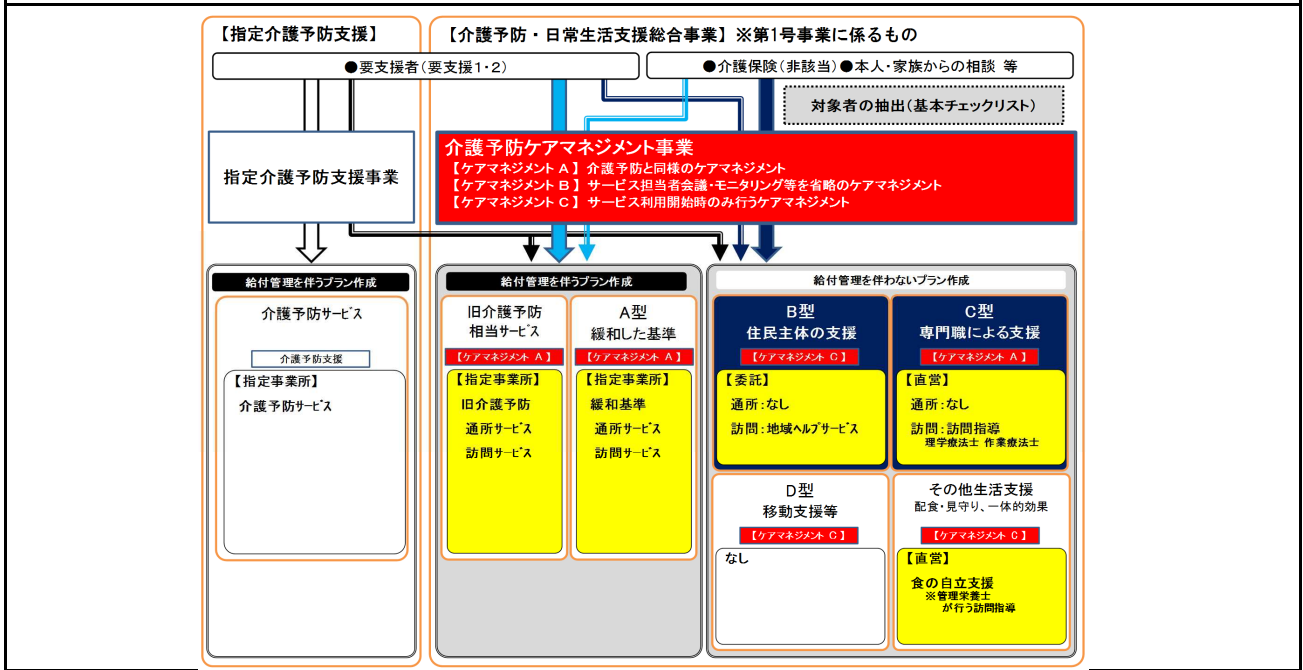
介護保険法改正により、平成27年度から従来の地域支援事業の中に介護予防・日常生活支援総合事業を創設した。総合事業の訪問型・通所型サービスを整備し、高齢者の介護予防を図るとともに、介護予防に資する社会資源となる住民主体による支援及びリハビリ職や管理栄養士等による専門的な支援を提供する。

◆事業の概要

- ①要支援1・2の認定者及び総合事業対象者を対象に、理学療法士等の専門職等が訪問し、介護予防のための保健指導や必要に応じて医療や必要な社会資源につなぐ。
- ②シルバー人材センターに介護保険の訪問介護の範囲外の生活支援を委託する。

◆対象

要支援1, 又は2、総合事業対象者（チェックリスト該当者）



【背景】

高齢者人口の増加とともに要支援の認定者数は増加傾向にあることから、今後ますます、総合事業における高齢者の介護予防に資するサービス整備等が重要となる。

担当課	福祉保健部地域包括支援センター	参事	角野 章子
担当者	中ノ瀬 順子	問合せ先	0957-53 - 8141 (内線201)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	地域ヘルプサービス利用件数	人	372	554	-	-	-
②	短期集中予防サービス訪問型サービスC利用者数	人	9	12	12	12	12

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	訪問型サービスC利用者のうち、機能改善がみられた人の割合	%	100	50	50	50	50
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	3,030	3,536	4,020	4,180	4,180	4,180	23,126
国庫支出金	1,082	1,431	1,001	1,040	1,040	1,040	6,634
県支出金	378	441	500	520	520	520	2,879
地方債							0
その他	823	963	1,098	1,143	1,143	1,143	6,313
一般財源	747	701	1,421	1,477	1,477	1,477	7,300
人件費	2,896	4,918	5,405	5,405	5,405	5,405	29,434
職員(人)	0.39人	0.67人	0.68人	0.68人	0.68人	0.68人	3.78人
時間外勤務(h)	30h	23h	230h	230h	230h	230h	973h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	5,926	8,454	9,425	9,585	9,585	9,585	52,560

妥当性 (市の関与)	平成27年度より開始した介護予防・日常生活支援総合事業は各保険者が実施するものであり、市が実施することが妥当である。
有効性 (施策貢献度)	生活支援だけでなく、健康面の保健指導を行うことにより在宅高齢者の心身の機能維持、向上及び日常生活における自立度を高めることにつながる。
効率性 (コスト)	専門職を配置し介護予防を強化し、又他事業に配置している専門職と協同し事業を遂行するなど効率的に実施しており、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり